

こもれびの森 シカ被害から守るための現状と課題

2023.9.24 NPO法人みのお山麓保全委員会 事務局 高島

こもれびの森

こもれびの森(市有林)
1990年(平成2年)に
生活環境保全林に指定
(面積約54.9ha)



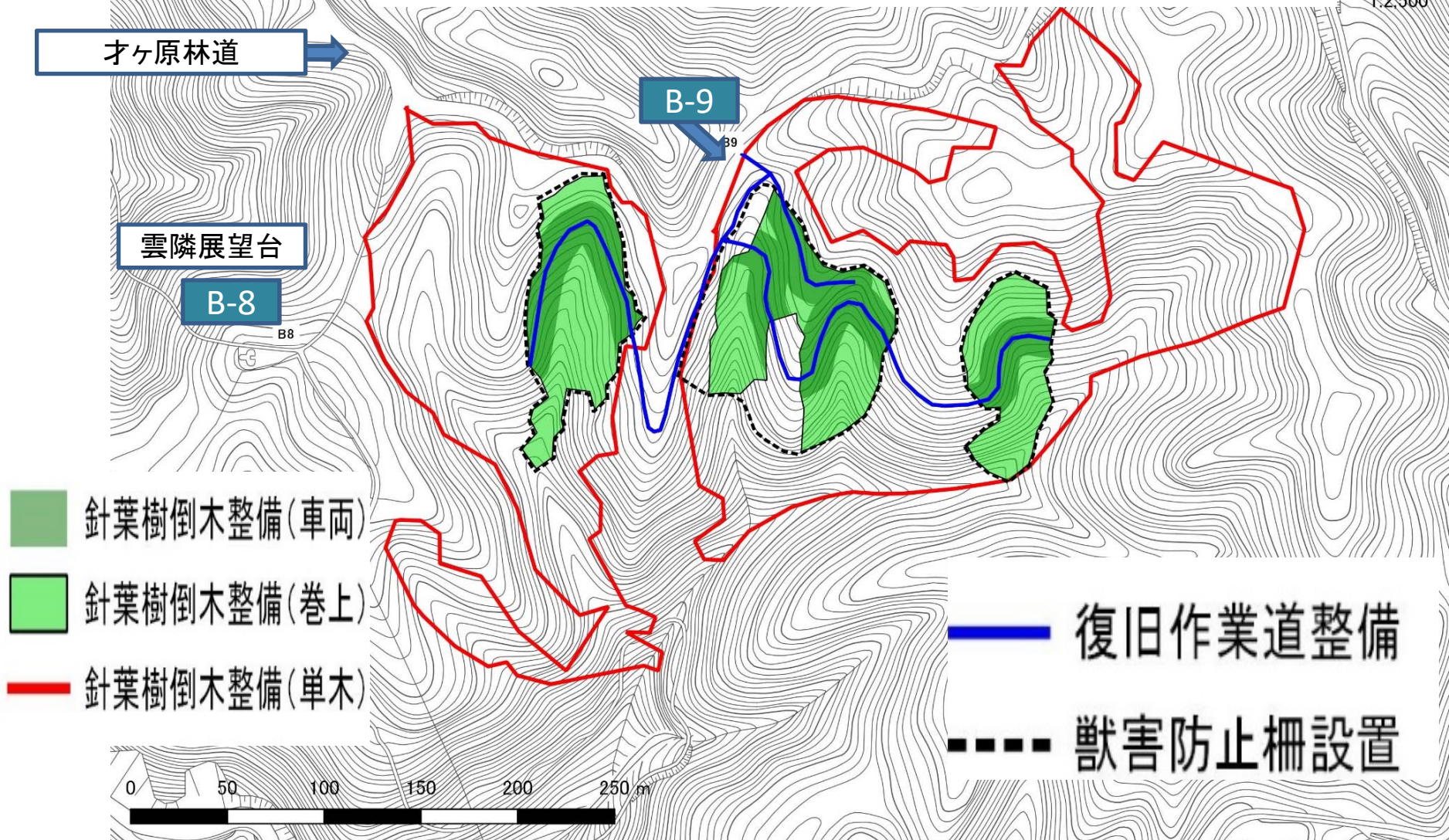
2018年9月台風21号による被害
3ヶ所の南斜面でスギ・ヒノキの
人工林の多くが倒れる大きな被害



大阪府による風倒木対策事業

期間：2019年8月～2020年1月8日

2019年、大阪府が作業道を作り、風倒木を搬出し被害地に防鹿用の金柵を設置。



- 針葉樹倒木整備(車両)
- 針葉樹倒木整備(巻上)
- 針葉樹倒木整備(単木)

- 復旧作業道整備
- 獣害防止柵設置

作業道を作って、倒木を撤去(大阪府)



風倒木被害地面積
≒7ha(全損≒1.5ha)

作業道(≒1000m)を
設置して、風倒木撤去

シカ除けのための金柵を設置(大阪府)



防鹿柵を設置(≒1,350m)
柵内の作業道(道幅≒4m)



こもれびの森の活動

2020年3月15日

市民が中心となって、市民の森として地域で支える

柵外のハイキング道などでは、シカ除け対策を行いながら、市民の憩いの場になるように、ヤマザクラなど花の咲く樹木の植樹。

2020年：イロハモミジ53本、ブナ科の苗木30本など、計83本植樹



単木用の防鹿ネットを設置

こもれびの森の活動

2021年3月13日

2021年： ツツジ50本、ヤマザクラ50本、ムラサキシキブ37本、
ガマズミ・カマツカ各24本など花の咲く木その他、コナラ60本、
防鹿ネットを設置し 計245本を植樹



こもれびの森の活動

2022年3月13日

2022年： 花の咲く木 ヤマザクラ50本+13本、タニウツギ3本、ヤブムラサキ3本、及びエノキ10本に加えて、防鹿ネット外にシカが嫌いなミツマタ50本を植樹 計129本を植樹



ミツマタを植樹

こもれびの森の活動

2023年3月12日

2023年： 前年植樹のミツマタは順調に生育しているため、ミツマタ50本、及びシカが嫌いなアセビを30本植樹。タニウツギ10本、ガマズミ10本、ムラサキシキブ10本、エノキなど、計127本を植樹
ビューポイントに、箕面の間伐材で製作したベンチを設置。



シカが嫌いなミツマタとアセビを植樹



間伐材で製作したベンチを設置

こもれびの森 植樹及び管理に関わる収支実績2020～2022年度

2020年度			
支出	1,109千	園芸業者植栽 委託費	945千
		防鹿ネット他、資材費など	163千
収入	1,109千	宮崎記念基金からの助成金	500千
		寄付金収入から	609千
2021年度			
支出		園芸業者植栽 委託費	937千
	1,173千	防鹿ネット、支柱などの資材費	236千
収入		宮崎記念基金からの助成金	500千
	1,173千	寄付金収入から	673千
2022年度			
支出		園芸業者植栽 委託費	705千
	780千	防鹿ネットや支柱などの資材費	75千
収入		災害復興募金から	375千
	780千	寄付金収入から	405千

こもれびの森 金柵内外の植生調査

2021年6月5日



防鹿柵の外↑で、確認された種は 6種

センダン、ナンキンハゼ、アセビ、ヒサカキ、マツカゼソウ、オオバノイノモトソウ。
全て、シカが嫌いな植物。

確認した先駆種(パイオニア植物/木本)

- 1, カラズザンショウ(落葉・高木)、
- 2, アカメガシワ(落葉・高木)、
- 3, キリ(落葉・高木)、
- 4, タラノキ(落葉・低~小高木)、
- 5, ヌルデ(落葉・小高木)の5種

オヶ原林道沿いの金柵を通して柵内を観察しただけで、計50種を確認

こもれびの森でのシカによる食害



↑ 植樹ヤマザクラの被害
シカが防鹿ネットに足をかけ、
ネットを引き下げ
枝を折って、ほとんどの
葉が食べられ、枯死木発生



2021年5月29日



センダン(不嗜好植物)にも
皮剥ぎの被害



2021年6月12日

シカの首つり⇒ 既存ネットに5cm幅のネットを追加設置



2021年10月23日

防鹿柵の破損とシカの侵入による食害

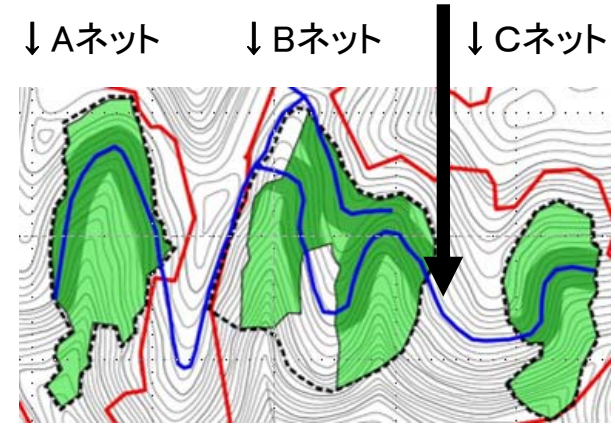
作業道の崩落による金柵(防鹿柵)の破損

2023年6月16日



2023年6月

BからCネットに向かう
作業道(柵外)が崩落
⇒柵が破損しシカが侵入



損壊した柵内(Bネット)にシカが侵入して食害



植樹したイロハモミジの全てが食害⇒

Bネット(金柵)内でのイロハモミジの植樹

2023年6月4日



※3~5年かけて育てたイロハモミジを
新婚カップルがBネット内に植樹

植樹したイロハモミジの
全てがシカによる食害⇒



食害を受けたイロハモミジに防鹿ネットを設置

2023年6月24日



こもれびの森、市民が進める森づくり

○生活環境保全林としての機能発揮

植樹や簡易な整備を通じて、市民の憩いの場としての機能や 水源かん養、土砂流出防止の機能、生物多様性の保全など、公益的機能の発揮をめざす。

※花や実のなる木を植えたり、ハイキング道などを整備してレクリエーションや自然観察などの場としても活用

○市民が中心になって進める「協働」の取り組み

定期的な見回り、防鹿ネットやハイキング道の簡易な補修、植樹などは市民が役割分担し、維持管理を継続

※金柵(防鹿柵)などのハード整備は箕面市の役割



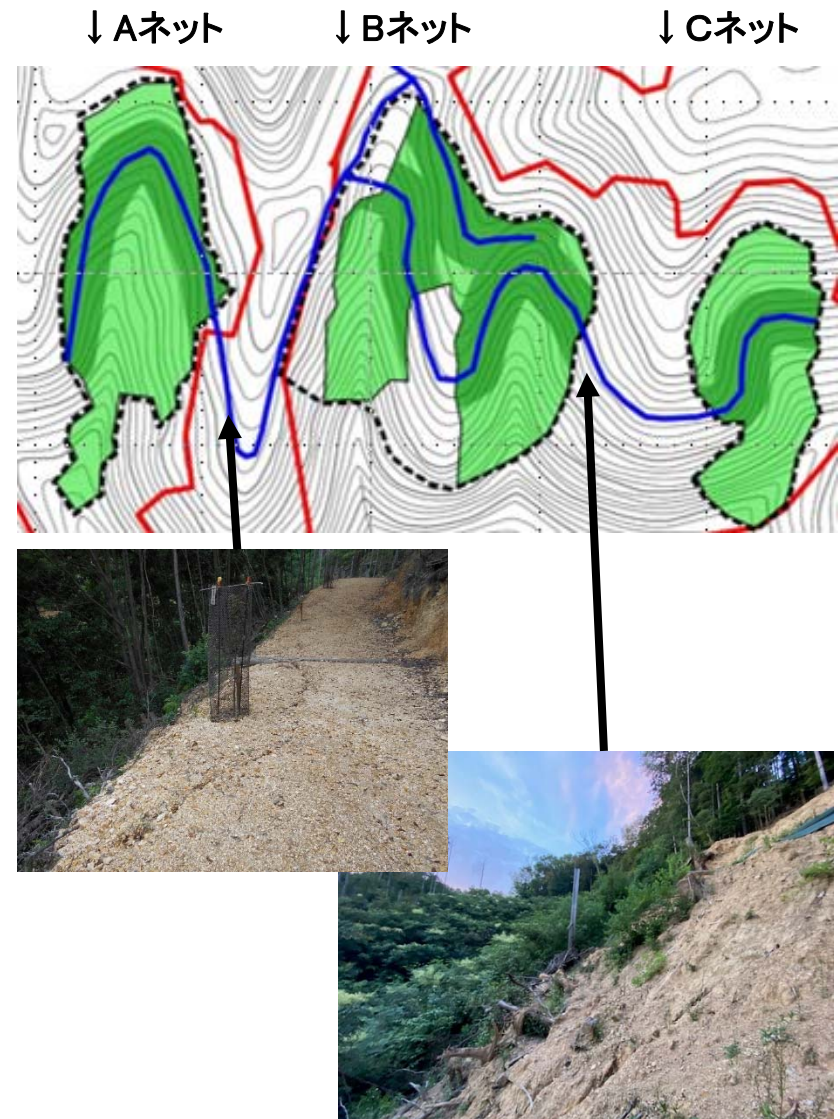
こもれびの森、市民が進める森づくりの主な課題

防鹿柵外のハイキング道・作業道の保全 の保全

裸地化、雨による表面浸食や路肩の崩れ、崩落などのリスクが高い。
(シカによる食害が顕著)

➡日当たりの良い環境を好む
シカが嫌いな植物、採食耐性のある植物(草本及び低木)の植樹、
又は種子散布

➡単木用のシカ除けネットを設置



こもれびの森の活動

2024年3月17日(日) 午前10時～午後2時(予定)
防鹿柵内外での植樹や維持管理活動

ご清聴ありがとうございました！

遠くに、あべのハルカス、大阪ドーム。天気の良い日は大阪湾が見える
市民の森として、憩いの場となるように整備・保全